開会あいさつ

大垣　賀津雄
鋼構造継続教育推進小委員会　委員長

第47回鋼構造基礎講座

失敗から学ぶ

～落橋・損傷事例から知る留意点～

2024年11月11日（月） 13:00～16:45

土木学会講堂（WEB配信併用）

土木学会 鋼構造委員会

鋼構造継続教育推進小委員会

日本鋼構造協会
土木鋼構造診断士・診断士補
2005年発足

発足メンバー

森猛先生（当時，法政大学教授）

高木千太郎さん（当時，東京都）

大垣賀津雄（当時，川崎重工業）

鋼橋の診断・補修の有識者

疲労損傷の
研究権威
森先生

新旧融合の
継続教育

補修補強の
新進気鋭
宮下先生

損傷事例の
研究権威
高木隊長

吊材損傷の
新進気鋭
林先生

プログラム

1．鋼アーチ橋の崩落事故事例　林 厳（大阪公立大学 助教）

2．ピッツバーグ道路橋崩落他事故事例　高木 千太郎（アイセイ）

3．鋼橋の疲労損傷事故・事例に学ぶ　森 猛（法政大学 名誉教授）

4．既設橋の性能評価（モニタリング＆Load Rating）　宮下 剛
（名古屋工業大学　特任教授）

5．世界の落橋からわかる留意点　大垣 賀津雄（ものつくり大学 教授）

「失敗から学ぶ～落橋・損傷事例から知る留意点～」

日本では高度成長期に整備された数多くの社会基盤の老朽化が進行しており、橋梁の維持管理の重要性が認識されている。一方、海外では大規模橋梁の落橋事故も発生していることから、定期的な維持管理と合わせて、既設橋梁の耐荷性能評価が課題となっている。

本講座では、国内外の既設橋梁の落橋事例や損傷事例の紹介に加え、これらの事例を契機として 発展した耐荷力の性能評価方法についても紹介する。